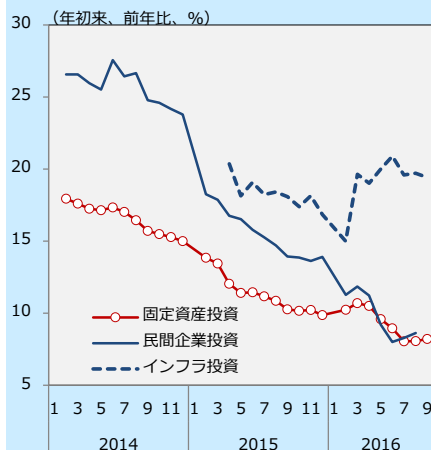


中国：GDP(2016年7-9月期)と9月の経済指標 *MRI Daily Economic Points*

—政府による投資下支え策が波及—

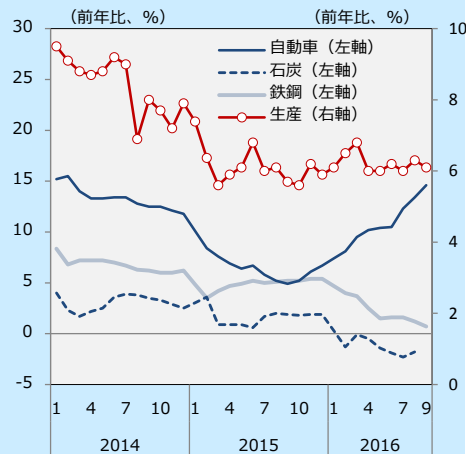
October 19, 2016

投資

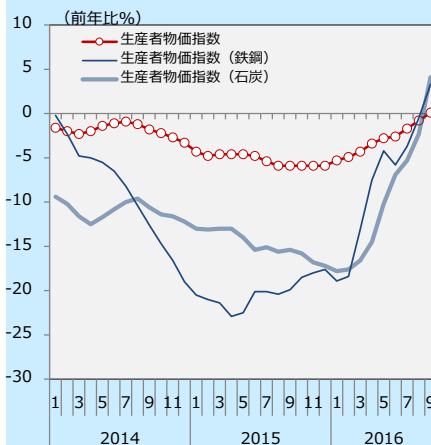


資料：Bloombergより三菱総合研究所作成

生産

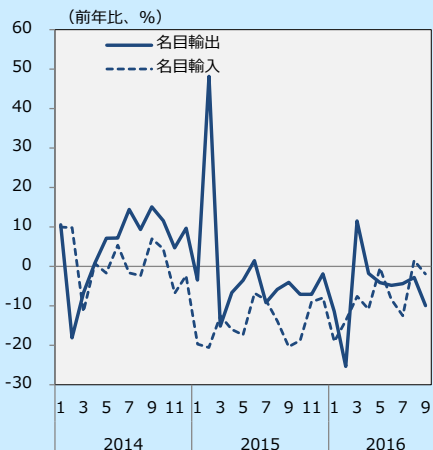


物価



資料：Bloomberg、CEICより三菱総合研究所作成

輸出入



評価ポイント

今回の結果

- 中国の16年7-9月期の実質GDPは、前年同期比+6.7%となった。1-3月期、4-6月期の同+6.7%から横ばいを続けている。季節調整済み前期比は+1.8%と前期(同+1.9%)と前期並みの安定した伸びが続いている。
- 2016年1-9月累計の固定資産投資は、前年同期比+8.2%と1-8月(同+8.1%)から伸びを高めた。民間投資も、1-8月で同+8.6%と2ヶ月連続で伸び率が上昇しており、政府による投資下支え策の効果が民間投資にまで波及している。
- 9月の小売売上高は、前年同月比+10.7%と前月(同+10.6%)からやや伸びを高めた。政府による小型車減税を背景に、自動車の販売拡大が続いており、全体の消費を下支えしている。
- 一方、9月の鉱工業生産は、前年同月比+6.1%となり、前月(同+6.3%)からやや低下した。自動車生産が増加を続けているものの、構造改革の進展から鉄鋼や石炭生産の伸びが低下しており、生産は横ばい圏内で推移している。
- 9月の生産者物価指数は、前年同月比+0.1%と、4年7ヶ月ぶりにプラスに転じた。過剰生産能力の調整が進展していることで、石炭や鉄鋼の価格が急速に回復し、生産者物価全体を押し上げている。
- 9月のドル建て輸出は前年同月比▲10.0%と減少しており、世界の需要が弱い中、輸出は弱い動きを続けている。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、過剰供給能力の調整などを背景に、減速傾向をたどっていたが、政府による景気刺激策や、消費の高い伸びが成長を下支えしており、足元では安定した伸びが続いている。
- 中央政府は企業の税負担軽減策のほか、地方政府に対して社会保険料引下げを要請するなど、企業活動への支援を強めている。今後も、拡大を続けるインフラ投資に加えて、企業に対する負担軽減策の影響波及から、民間投資の減速ペースは緩やかなものにとどまるだろう。
- 16年の+6.5%成長の目標達成が確実視される中、今後は17年の成長率目標に注目が移る。政府が改革の先送りを続ければ、中長期的に経済の急減速は避けられず、来年3月の全人代において、17年の経済成長率の減速をどこまで容認するかが注目される。